



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月12日  
上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社  
コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 落野 勝  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 林 治克 TEL 0776-53-9200  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,471	1.6	493	47.1	509	41.0	315	61.0
24年3月期第2四半期	3,417	9.5	335	57.1	361	53.4	196	73.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 320百万円 (80.8%) 24年3月期第2四半期 177百万円 (101.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	27.49	—
24年3月期第2四半期	17.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,606	6,266	72.6
24年3月期	8,798	6,175	70.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,246百万円 24年3月期 6,156百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,174	△0.9	1,044	20.3	1,070	17.2	618	13.8	53.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 2社 （社名）福井コンピュータアーキテクト株式会社、福井コンピュータ株式会社  
除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	11,500,000株	24年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	11,870株	24年3月期	11,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	11,488,130株	24年3月期2Q	11,488,169株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が判断したものであります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）における当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,471百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益493百万円（前年同期比47.1%増）、経常利益509百万円（前年同期比41.0%増）、四半期純利益315百万円（前年同期比61.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更していますが、前四半期連結累計期間について変更後の区分方法による作成が困難なため、比較を行っておりません。

①建築CAD事業

7月以降の住宅着工件数が2ヵ月連続で前年同月水準を下回っておりますが、国土交通省発表の年率換算値では緩やかながらも持ち直しを維持しており、主力商品の「ARCHITREND Z」のユーザー増設・オプションプログラム販売が堅調に推移しております。この結果、建築CAD事業の売上高は1,878百万円、営業利益は242百万円となりました。

②測量土木CAD事業

測量CADソフトウェアにつきましては、東日本大震災で発生した地殻変動に伴う公共基準点等の座標値に対する補正が必要となり、国土地理院にて新たに策定された「測地成果 2011」への対応をはじめとした震災復興支援機能強化に向けて、主力商品であります「BLUETREND XA 2013」を6月に発売しました。また、土木CADソフトウェアにつきましては、震災復興による公共投資の増額、情報化施工技術の一般化・実用化が推進される中、土木施工業向け主力商品「EX-TREND 武蔵 2012」のオプションプログラムと保守商品の販売が堅調に推移しました。この結果、測量土木CAD事業の売上高は1,562百万円、営業利益は235百万円となりました。

③その他

主にインターネット宿泊予約システムにより、売上高は31百万円、営業損失は12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、8,606百万円となり、前連結会計年度末より191百万円減少しました。主な要因は売上債権の減少によるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末より127百万円増加し2,610百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、608百万円（前年同期は599百万円の獲得）となっております。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益509百万円、売上債権472百万円の減少、法人税等の支払額296百万円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、251百万円（前年同期は93百万円の使用）となっております。主な要因としては、有形固定資産の取得による支出20百万円、無形固定資産の取得による支出67百万円及び保険積立金の積立による支出117百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、228百万円（前年同期は115百万円の使用）となっております。配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成24年5月10日に公表した通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	7,066	894	915	543	47円27銭
今回修正予想 (B)	7,174	1,044	1,070	618	53円79銭
増減額 (B-A)	108	150	155	75	—
増減率 ( % )	1.5	16.8	16.9	13.8	—
(参考) 前期実績 (平成24年3月期)	7,236	868	913	543	47円31銭

売上高は、当初の計画をやや上回る見込となっております。これは、主に測量CADソフトウェアの売上高が計画を上回る見込であることによります。

営業利益、経常利益および当期純利益につきましても、当初の計画を上回る見込となっております。これは、売上高が計画を上回ることに加え、販売促進関連費、交際費、消耗品費などの費用が計画を下回る見込であることによります。

これらのことから、平成25年3月期通期連結業績予想を、平成24年5月10日の公表値から、売上高は108百万円増の7,174百万円、営業利益は150百万円増の1,044百万円、経常利益は155百万円増の1,070百万円、当期純利益は75百万円増の618百万円に修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、当社は平成24年7月2日をもって持株会社体制へ移行し、当社の建築CAD事業を会社分割により承継した福井コンピュータアーキテクト株式会社及び当社の測量土木CAD事業を会社分割により承継した福井コンピュータ株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,122	3,300
受取手形及び売掛金	1,344	872
商品及び製品	26	17
仕掛品	12	21
原材料及び貯蔵品	25	17
繰延税金資産	218	196
その他	80	98
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	4,824	4,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,708	1,666
土地	1,123	1,123
その他(純額)	56	64
有形固定資産合計	2,888	2,853
無形固定資産		
のれん	32	26
その他	96	134
無形固定資産合計	128	160
投資その他の資産		
投資有価証券	609	609
繰延税金資産	30	23
その他	328	449
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	956	1,071
固定資産合計	3,973	4,085
資産合計	8,798	8,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68	37
未払法人税等	317	179
前受金	1,232	1,311
賞与引当金	206	189
役員賞与引当金	40	17
その他	735	583
流動負債合計	2,600	2,318
固定負債		
長期未払金	3	3
その他	18	17
固定負債合計	22	21
負債合計	2,622	2,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	2,448	2,534
自己株式	△5	△5
株主資本合計	6,171	6,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14	△10
その他の包括利益累計額合計	△14	△10
少数株主持分	18	19
純資産合計	6,175	6,266
負債純資産合計	8,798	8,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,417	3,471
売上原価	656	669
売上総利益	2,760	2,802
販売費及び一般管理費	2,424	2,308
営業利益	335	493
営業外収益		
受取配当金	2	5
受取手数料	6	5
投資事業組合運用益	6	—
償却債権取立益	10	—
その他	2	5
営業外収益合計	27	16
営業外費用		
持分法による投資損失	1	—
為替差損	0	0
その他	0	—
営業外費用合計	1	0
経常利益	361	509
特別損失		
減損損失	23	—
特別損失合計	23	—
税金等調整前四半期純利益	338	509
法人税、住民税及び事業税	113	165
法人税等調整額	34	27
法人税等合計	148	193
少数株主損益調整前四半期純利益	189	316
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	0
四半期純利益	196	315

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189	316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	3
その他の包括利益合計	△12	3
四半期包括利益	177	320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	319
少数株主に係る四半期包括利益	△6	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	338	509
減価償却費	113	85
減損損失	23	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△16
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△22
売上債権の増減額(△は増加)	280	472
たな卸資産の増減額(△は増加)	8	8
前受金の増減額(△は減少)	106	78
その他	△89	△217
小計	761	899
利息及び配当金の受取額	6	6
法人税等の支払額	△169	△296
営業活動によるキャッシュ・フロー	599	608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△486	△530
定期預金の払戻による収入	492	480
有形固定資産の取得による支出	△37	△20
無形固定資産の取得による支出	△18	△67
投資有価証券の取得による支出	△7	—
投資有価証券の売却による収入	8	5
保険積立金の積立による支出	—	△117
事業譲受による支出	△24	—
その他	△19	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△115	△228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115	△228
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	390	127
現金及び現金同等物の期首残高	1,473	2,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,863	2,610

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,341	75	3,417	—	3,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,341	75	3,417	—	3,417
セグメント利益	546	11	557	△221	335

(注) 1. セグメント利益の調整額△221百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「建設業系CAD事業」において、遊休土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,878	1,562	3,440	31	3,471	—	3,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,878	1,562	3,440	31	3,471	—	3,471
セグメント利益又は損失(△)	242	235	477	△12	465	28	493

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソリューション事業であります。

2. セグメント利益の調整額28百万円は、グループ会社からの経営指導料等及びグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、セグメント情報におけるセグメント区分は「建設業系CAD事業」「ITソリューション事業」に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「ITソリューション事業」は重要性がなくなったため、「その他」として表示しております。

また、「建設業系CAD事業」は「建築CAD事業」と「測量土木CAD事業」に区分して表示する方法に変更しております。当該変更は、平成24年7月2日に会社分割による持株会社体制へ移行し、分割会社として建築CADソフトウェアの開発及び販売を主たる事業とする福井コンピュータアーキテクト株式会社と測量土木CADソフトウェアの開発及び販売を主たる事業とする福井コンピュータ株式会社を新たに設立しましたが、この持株会社体制への移行を考慮して、取締役会に報告する区分の見直しを行ったことから、上記のとおり変更することといたしました。

さらに、上記変更に伴って、セグメント別の損益をより明確に表示するために、従来、各報告セグメントに配賦していなかった全社費用を、それぞれの費用の性質に応じた合理的な配賦基準に基づき、各報告セグメントへ配賦しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント区分に基づいて作成するために、必要な情報を遡って入手することは困難であります。そのため、当第2四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法により算定した情報を開示しております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュー ション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,440	31	3,471	—	3,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,440	31	3,471	—	3,471
セグメント利益又は損失(△)	825	△12	813	△319	493

(注) 1. セグメント利益の調整額△319百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。